

上高地診療所

90年の歩み

■ 沿革

大正12年(1923)	東京医学専門学校山岳部創設
13年(1924)	仮診療所小梨平設置
昭和2年(1927)	東京医学専門学校山岳会高山医学研究所 付属診療所開設
5年(1930)	燕山荘西岳の小屋、槍ヶ岳殺生小屋で 診療開始
14年(1939)	同所での診療中止
15年(1940)	診療所(小梨平)改築
21年(1946)	東京医科大学に昇格に伴い、東京医科大学 高山医学研究所上高地診療所に改名
32年(1957)	現在地に新築 東京医科大学上高地診療所と改名
54年(1979)	7月14日現診療所竣工
57年(1982)	保険診療開始
58年(1983)	上高地診療所創立60周年記念

■ 設立の経緯

東京医科大学の前身である東京医学専門学校に入学した学生(篠井金吾ら)が山岳部を創設したのが、大正12年(1923)のことでした。彼らは上高地を中心として登山活動に入り、そこで五千尺旅館主丸山尚氏、夫人藤沢たい氏らと懇意になり、健康相談に応じるようになったのが当診療所の始まりです。

昭和2年(1927)丸山尚氏の全面的な援助によって、五千尺旅館の小梨平側、清水川との間に診療所が開設されました。当時は「東京医学専門学校山岳会高山医学研究所」と呼称されました。

その後、昭和32年(1957)に現在地に移転し、名称も「東京医科大学上高地診療所」となり、東京医科大学病院の医師を派遣して、診療にあたるようになりました。



昭和初期の診療所

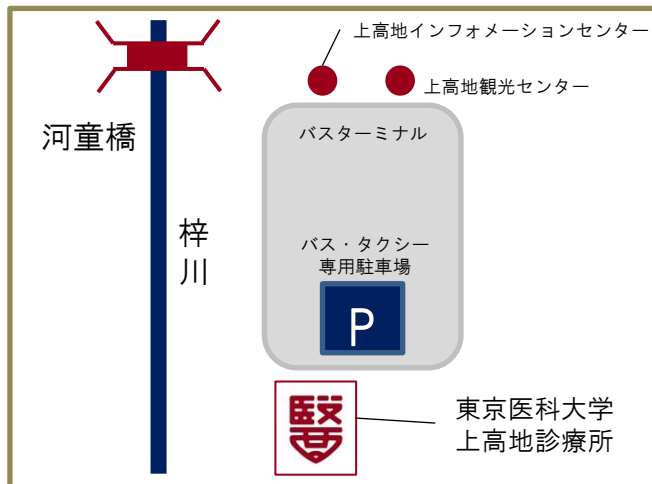
上高地診療所

診療案内

開設期間	4月27日(開山祭)から 11月15日(閉山祭)まで *前後する事があります。
診療時間	午前9時から午後5時まで
急患	随時受付
診療担当医	1週間交代で東京医科大学の 医師が診察を行います。
保険診療	保険診療を行っています。 健康保険証をお持ちください。

*診療所に常備してある薬は、一般の病院と異なり種類に限りがあります。普段服用されている薬がある方は、必ずお持ちください。院外処方箋の発行は行っておりません。

■ アクセス



住所: 〒390-1516 長野県松本市安曇上高地
TEL: 0263-95-2935 FAX: 0263-95-2558



上高地診療所 90年の歩み



東京医科大学
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY

上高地診療所とは

東京医科大学上高地診療所、通称「東京医大診療所」は、東京の新宿にある「東京医科大学」そして、その附属病院として西新宿にある「東京医科大学病院」の附属施設です。

現在、上高地の開山～閉山までの間、東京医科大学の医師が交代で出張し、診療にあたっています。

当診療所は地域にお住まいの方および観光で来られた方に対し、初期治療を行っています。難しい処置、レントゲン等の検査が必要と判断される場合は、近隣の総合病院へご紹介しています。



上高地診療所
所長 荻原幸彦
＜大学病院 麻酔科 臨床准教授＞

上高地への想い

～東京医大と山岳医療～

東京医科大学上高地診療所は、日本の山岳登山の黎明期から現在に至るまで、北アルプスの南部、上高地において地域医療と山岳診療の灯を燃やし続けています。

岳に集う若者達の生命を見守り、麓を逍遙する者の安全を支え、地域の民の健康を見守ってきた上高地診療所。その長い歴史の中では、滑落や雪崩、あるいは落雷、疲労凍死などの悲惨な遭難も見てきました。安曇だけではなく、岐阜県側からも医療を求めて尋ねて来られた患者もおり、大学病院のような最新の設備はありませんが、ここに集う医師は、工夫と熱意でこの診療所を守ってきたのです。

世界に誇る日本の山岳観光の拠点であり、日本における山岳登山のメッカでもある「上高地」を訪れる人々の健康と安全を支えていくことが上高地診療所の使命であり、その想いが今日も上高地診療所の灯を守っています。

(上高地診療所 顧問 植木彬夫)

東京医科大学の紹介

新宿の地で建学、2016年に創立100年



設立の経緯

今から100年前の大正5年(1916)5月、日本医学専門学校(現 日本医科大学)の学生は学校側と対立し、約450名が同盟退学しました。彼らは理想とする学問の場を自分たちの手で実現させようと新校設立運動を開始し、幾多の困難を乗り越え、同年9月、東京物理学校(現 東京理科大学)の教室を借りて、本学の前身である東京医学講習所の設立を果たしました。

大正7年(1918)には、長く官界にあった高橋琢也先生が全私財を投じ、全国を奔走して佐藤進氏、森林太郎(鷗外)氏、原敬氏、犬養毅氏、高橋是清氏、大隈重信氏、渋沢栄一氏など医学界、政界、財界の有志から多大な支援を受け、東京医学専門学校が設立されました。昭和21年(1946)、東京医科大学に昇格し、現在に至っています。

本学では、学校の設立と運営に心血を注いだ高橋琢也先生を「学祖」として、今も尊敬の念と親愛の情をもって語り継がれています。



学祖高橋琢也像



創立100周年記念事業

東京・西新宿にある大学病院が、新しく生まれ変わります

新病院建設

2016年着工
2019年開院



■計画概要

延べ床面積 約98,000㎡
病床数 約900床
階層 地上20階
地下2階

※平成27年10月28日時点での予想図です。完成予想図はイメージで、実際と異なる場合があります。

安心、安全で高度な医療を提供するのはもちろんのこと、より患者さんの心身への負担が小さい低侵襲な医療を展開していきます。また、首都直下型地震など大規模災害時も継続して医療を提供できる、地域災害拠点中核病院となります。



地域の医療ニーズに応じて、関東広域で附属病院を展開

平成28年8月現在

■学部・大学院

- 医学部
医学科／看護学科
- 大学院医学研究科
(博士・修士)

■附属施設



東京医科大学
上高地診療所
(長野県松本市)

